

北朝鮮弾道ミサイル発射に関する 情報連絡会議

平成27年3月2日(月)

鳥 取 県

次第

- 1 あいさつ
- 2 開催の趣旨
- 3 北朝鮮弾道ミサイル発射
 - 現状
 - 今後の県の対応

開催の趣旨

北朝鮮の弾道ミサイル発射を踏まえ、
県民の安全・安心の観点から庁内にお
ける情報共有を図るとともに、今後の
対応等を協議する。

現状－弾道ミサイルの発射状況等－

報道

●3月2日(月)午前6時32分～41分頃

北朝鮮西岸南浦(ナンポ)一帯からスカッドと推定される弾道ミサイル2発を日本海に向けて発射

(射程490km)

→航行警報等通知されていない

* 発射確認後、海上保安庁が航行警報を発出を受けて、水産庁より「水産庁漁業安全情報」が発出



現状一県の対応状況一

●3月2日(月)

・安否確認

漁船(異常なし)、DBSクルーズ(釜山港ドッグ入り:異常なし)、練習船(境港停泊中:異常なし)

・市町村への情報提供

・知事報告

・知事コメント発出

→午前10時55分、資料提供

現状－知事コメント－

- 国際世論を無視した北朝鮮の弾道ミサイル発射に対し、強く抗議する。
- 速やかに安全を確認したものの、本県のべにずわいがに漁などへの危険も考えられ、日本政府として毅然とした対応をするよう求める。
- 本県としても、引き続き情報収集にあたるなど、県民の皆様の安全を図って参りたい。

現状－米韓演習及び北朝鮮記念日－

【米韓演習】

3月2日～3月13日：キーリゾルブ（指揮所演習）

3月2日～4月24日：フォールイーグル（実動演習）

* 報道情報

【北朝鮮記念日】

4月11日：金正恩、第一書記、中央軍事委員会委員長就任から2年

4月13日：金正恩、国防委員会第一委員長就任から3年

4月15日：太陽節（金日成生誕記念日）

4月25日：建軍節（軍創建記念日）

7月27日：祖国解放戦争勝利記念日

8月15日：祖国解放記念日

8月25日：先軍節

9月9日：建国記念日

10月10日：朝鮮労働党創立記念日

* 平成27年は、労働党結成70周年

現状一国の体制一

【官邸】

- 情報連絡室(昨年より継続)
- ※関係省庁局長級会議開催

【消防庁】

- 通常体制(体制変化なし)

現状－国の対応①－

●総理指示

- ①米国、韓国等関係諸国と連携を図りつつ、緊張感をもって情報収集・分析に努めること
- ②航空機・船舶等の安全確認を徹底すること
- ③国民に、迅速・的確な情報提供を行うこと

●その他

・昨年7月26日の事案依頼となるが、航空機や船舶の安全確保の観点から極めて問題のある行為、北朝鮮に対して嚴重に抗議

・引き続き、情報の収集・分析に全力を挙げ、今後追加すべき情報を入手した場合、速やかに発表

現状一国の対応②ー

●航行警報(海上保安庁)

3月2日0630頃、北朝鮮西岸より日本海に向け弾道ミサイル2発発射、船舶は今後の情報に留意するとともに、落下物を認めた場合は近づくことなく、関連情報を海上保安庁に通報されたい。

※水産庁は、上記内容を漁業安全情報として発出

今後の県の対応(案)①

●当面、情報連絡室をもって情報収集による情報の把握と情報共有化を図り、関係団体等への情報提供を行う

◆情報収集体制の強化

→防災当直も含めて24時間情報収集を実施

* 2月4日(水)の国際テロの情勢を受けて「情報連絡室」を設置中

◆災害情報DB、職員参集・情報提供メールによる県庁内の情報の共有

◆入手した情報の内容に応じた関係団体等への情報の提供(航行警報、発射予告等)

* 本県に影響がある場合は、Jアラート、Mネットで国からの情報は市町村の防災行政無線で県民に伝達

* 確度の高い緊急性の高いマスコミ情報は、速やかに県民に伝達

(緊急情報配信指針)

◆安全(安否)確認及び市町村等への情報提供

→弾道ミサイル発射の都度、安全確認を継続

* DBSクルーズ、練習船、漁船、アジアナ(発射経路による)

→消防庁(発射情報等)FAXを市町村へ転送

●今後、国の体制強化に応じて体制を逐次強化

今後の県の対応(案)②

—北朝鮮弾道ミサイル対応における各部局の役割—

各部局	当面の対応
危機管理局	・国等との連絡・情報の収集、集約及び伝達
文化観光局	・アジアナ航空の安全確認(発射経路による)
商工労働部	・DBSクルーズの安全確認
農林水産部	・落下区域操業予定の漁船の把握及び着弾後の安否確認 ・漁協、漁船関係者への注意喚起
教育委員会	海洋練習船の航行状況の把握及び着弾後の安否確認(落下区域近郊に所在する等必要のある場合)